

第3回 園芸高等学校 学校協議会（記録まとめ）

平成28年2月27日（土）

15:00～16:30

司会・書記： 教頭

1 開 会

学校長あいさつ

2 報告及び情報提供

①農業クラブ全国大会について（教頭）

- ・農業クラブ組織や活動内容等について説明
- ・平成28年度に全国大会実施要項等について説明

②100周年について（教頭）

- ・100周年記念事業（記念碑・記念式典・祝賀会）について報告
- ・今後、トイレの改修・同窓会館の改修を行う予定

③授業アンケートについて（ 〃 ）

- ・7月・11月実施授業アンケート結果について説明
- ・ミドルリーダー等による初任者の指導を行っている。
- ・今年度は初任者2回2年目教員ミドルリーダー各1回合計15回の研究授業を実施、校長の授業見学时に他の教員が自由に見学できるようにしている。

④SSH事業について（西村首席）

- ・平成26年度各種SSH活動について報告
- ・実施上の課題と今後の取組みについて説明

⑤生徒の活躍状況について（西村首席）

- ・PTA新聞を基に生徒の活躍について報告
- 各種賞の受賞など（PTA新聞を基に説明）

【主な意見等】

- ・園芸に入学した生徒は非常にいい顔をしている。今までの教育に自信を持ってほしい
- ・園芸の生徒は人間性があると思われる。良い生徒がたくさん育っている。
- ・生徒や先生は非常にたくさんの取り組みをしている。
- ・専門学科として特色を出した方が良いと思われる。入試について普通科と一緒にすべきではないと思われる。今後もより一層頑張りたい。

3 協議【司会・進行（教頭）】

(1) 学校経営計画の報告書について（校長）

- ・本年度の学校経営計画及び学校評価に基づき報告

基礎学力についての取組み、就職結果、生産物の販売（定期市・池田市連携・トレーラーハウス）、クラブの体験入部・学校説明会・中退者数・5 学科構想・あいさつマナー運動等について説明

<質問>

和田委員：退学者の状況は。

校長：退学者よりも転学の生徒が多い。

秋澤委員：転学イコール退学ではないかと思うが。

校長：数が多いのは1年生。特色のある学校なのでミスマッチの転学もあるが、人間関係の崩れ等で不登校に至るケースも多い。

秋澤委員：色々な取組みをしているが、もう少しPRが必要ではないかと思う。

また取組みが多くやり切れていないので、絞って取り組むべきでは。

西村首席：全体をみたときにまだまだの部分がある。若い先生にベテランの先生が指導できるような仕掛けを作るようにしている。

和田委員：40代の先生はいるか。

校長：少ない状況である。

(2) 学校教育自己診断結果について（南出首席）

- ・自己診断結果について生徒・保護者・教員の結果について説明

(3) 本年度のまとめ 次年度への課題

【意見・感想など】

和田委員：自己診断の結果より、生徒は園芸高校を誇りを持って取り組んでいると思う。

昨年度までは生徒が落ち着いていたが、春先は雰囲気が変わったように思われた。しかし、1学期が終わる頃には生徒の顔つきが非常に良くなった。先生方の一丸となって取り組んだ賜物だと思う。

目的の持った生徒を育てて欲しい。そのために中学校に学習内容をPRして欲しい。生徒の興味よりも塾のランキングで選ぶようになっている。

小学生を体験で受け入れているが、中学生も受け入れて欲しい。

校長：行事等も含め学校に呼ぶことは可能である。

秋澤委員：昨日の新聞の中学生の進路希望調査で今年度は志願倍率は高い。淀川工科高校などは吹奏楽など憧れや目的を持って取り組んでいることから目標があれば生徒をかえることができる。また、京都の桂高校などは研究活動に熱心に取り組んでいる。園芸高校も目標を絞ってやっていく方が良いと思われる。そうすれば自分で勉強をするようになってくると思われ、今のままで学校運営を広げていけば良い。

若い先生を育てても数年で移動する。教育委員会に異動について伝えるべきではないかと思う。トータル見ると頑張っているが、遅刻・懲戒等のデータ

でも分析が必要ではないか。

北浦委員：生徒も先生も良く頑張っている。生徒が目的を持って取り組める選択肢を増やして欲しい。また、成果は単年度で見るのではなく数年で見るべきであると思う。

環境緑化科は造園技能検定やフォークリフト・ユンボの資格なども取得できるが、他の学科の生徒のニーズも取り入れても良いのではないか。

自己診断の結果で満足度が非常に高いことから、そのことを外部にもっと発信すべきではないかと思う。

組織的にもしっかりとってきている。

堤委員：池田市未来2030の委員として参加しているが、様々な計画を検討している。一つの案として、高校生レストランのような企画や様々な実験の講習会、ボランティア・花の提供など園芸で協力して頂きたい。また、春団治まつりなどでも協力願う。

西村首席：春団治まつりなど実験をしていたが、販売が中心のため、撤収をしていたが今後、参加について検討をしたい。

(4) 閉 会

学校長あいさつ

校長：貴重な意見を頂いた。まだ、改善すべき部分もあるので、次年度取り組んでいきたい。委員の先生方には次年度も協力をお願いしたい。

・次年度の予定

教頭：次年度の学校協議会も年間3回実施予定。日程については電話等で調整させて頂く。